



日本の
ひなた
宮崎県

霧島山の
めぐみめぐる
えびの

山と水、海と河、温泉と四季の恵り。



2026 ALL JAPAN TRIAL CHAMPIONSHIP
全日本トライアル選手権
第4戦宮崎・えびの大会

矢岳高原トライアルコース

宮崎県えびの市西川北 1377-2 (えびのICから約30分)

ペルトンオートキャンプ場



ROUND
R4 7.12 SUN.



主催 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
株式会社モトスポーツプロモーション
主催協力 MFJ九州地区トライアル部会
後援 えびの市、えびの市観光協会、宮崎県自動車整備振興会
MRT宮崎放送、宮崎日日新聞社、日本二輪車普及安全協会

公式プログラム
Official Program



大会名誉会長
えびの市長 中山 義彦

宮崎・えびの大会歓迎のご挨拶

2026 MFJ全日本トライアル選手権シリーズ第4戦宮崎・えびの大会の開催にあたり、本大会がえびの市で開催されますことを心よりお喜び申し上げます。また、全国各地よりご参加いただいた皆様を心より歓迎いたします。

本日の会場である矢岳高原は、日本三大車窓の一つとして知られており、雄大な霧島連山を望む美しい景観が広がっています。この風景はテレビCMの撮影地としても使用されるなど、多くの人々を魅了してきました。また、大会本部にもなっている矢岳高原ベルトンオートキャンプ場を有し、豊かな自然の中でキャンプやアウトドアを満喫することができます。

本市では、「アウトドアシティえびの」を掲げ、豊かな自然を生かした観光振興に取り組んでおります。本大会が、トライアル競技のさらなる発展と、えびの市の魅力を全国へ発信する機会となることを期待しております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました大会関係者の皆様に深く敬意と感謝を申し上げますとともに、選手の皆様が日頃の練習の成果を存分に発揮され、熱戦を繰り広げられますことを心よりご祈念し、歓迎のご挨拶といたします。



一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
会長
鈴木 哲夫

宮崎・えびの大会開催によせて

2026年全日本トライアル選手権第4戦宮崎・えびの大会によるご越しくございました。

本大会の舞台は、2021年以降の開催となる宮崎県えびの市です。豊かな大自然に囲まれたキャンプ場を利用した特設会場には、巨大な岩や起伏に富んだ地層を活かした、非常に多彩で難度の高いセクションが用意されています。「ライダーにとっては挑戦しがいがあり、観戦者にとっては見応えのある大会を」と、九州地区トライアル部会、えびの市、矢岳高原活性化委員会をはじめ、大会開催にご尽力いただいたすべての関係者の方々に深く感謝を申し上げます。

自然の造形を相手に、マシンを完璧にコントロールして肉体の限界に挑むトライアル。ここえびのの過酷なコースに立ち向かうライダーたちの卓越したテクニックは、必ず皆様に魅了することでしょう。観戦エリアと競技エリアが極めて近いトライアルならではの臨場感を楽しみながら、素晴らしい走りを見せたライダーには、ぜひ盛大な拍手と応援をお願いいたします。なお、会場には地元の名産を中心とした飲食ブースもご用意しておりますのでご利用ください。

結びに出場されるライダー、チーム関係者の皆様の熱い健闘を心から期待するとともに、大会の成功を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

タイムスケジュール

7:30 ~ 国際B級 スタート (1分おき1台)
8:21 ~ レディース スタート (1分おき1台)
8:30 ~ 国際A級 スタート (1分おき1台)
9:00 ~ 国際A級スーパー スタート (1分おき1台)

14:30 ~ 国際A級スーパー 上位10名によるスペシャルセクション(SS)スタート・2セクション
15:30 ~ 大会式典、表彰式

※タイムスケジュールは、天候その他の理由により変更される場合があります。

MFJ公式インフォメーション、
リザルト、レポートは
こちらをご覧ください。

<https://mspro.jp/trj/>



競技方式

国際A級スーパー …… 10セクション×2ラップ/4時間30分+SS×2セクション
国際A級 …… 10セクション×2ラップ/4時間30分
レディース …… 10セクション×2ラップ/4時間30分
国際B級 …… 10セクション×2ラップ/4時間30分

宮崎・えびの大会 組織図

大会役員	進行・救護・保安	セクション審判員
大会名誉会長 …… 中山義彦(えびの市長)	本坊淳悟 竹原堅二 細江正昭	小山修一 山口幸男 岩城洋一
大会会長 …… 鈴木哲夫(MFJ会長)	村上 功 朝倉賢一 竹屋 泰	伊地知初見 窪田 豊 巢山 悟
(大会審査委員会)	白樫俊輝 中野勝臣 小東恵利子	小林勝彦 柳井信二 西賀順一郎
審査委員長 …… 山本修三(中国地区TR部会長)	戸久河知宜 桑原健介 黒松裕貴	滝浪 武 田中光男 白池寛太
審査委員 …… 柿田史彰(TR委員長)	車検 …… 太田幸成 堀 浩 宮崎和男	福留幸一 山口良二 小牟田正
(実行役員)	江口ひろみ	中村 修 高崎正隆 上玉利稔
競技監督 …… 江藤真弥	集計 …… 大門哲也 大門美紀	鈴木尚洋 若満翔太 松下茂彦
副競技監督 …… 大坪洋一	計時 …… 堀 浩(兼務) 江口ひろみ(兼務)	迫繁二郎 山口光一 北野真誓
セクション査察 …… 山本昌也(MSP)	MC …… 遠目塚文美	吉次照男 宇部 智 小川直弥
審判員 …… 西川光弘 浦川正隆	メディカル …… 黒沢治(ドクター) 山之口和樹(看護師)	茂山高志 村田憲昭 森富照昭
セクションコーディネータ 西川光弘(兼務)	大会事務局 …… 平野真弓(MSP) 岩田稔(MSP)	児玉 敏 宗木祐一 池上正治
	船戸進(MSP) 中嶋宏明(MSP)	田中良浩 高木駿彦 下宮園樹
	MFJ事務局 …… 保田奈那(MFJ)	清水哲生 田中豊樹 竹下芳明
		西本和明

■ 後援各社(順不同・敬称略)

えびの市、えびの市観光協会、えびの市商工会、宮崎県自動車整備振興会、MRT宮崎放送、宮崎日日新聞社、日本二輪車普及安全協会

■ ご協賛各社(順不同・敬称略)

株式会社ダンロップタイヤ/株式会社ミタニ/有限会社エトスデザイン/ヤマハ発動機販売株式会社/株式会社力造(ばわあくらふと)/SHERCO JAPAN & SCORPA JAPAN/井上ゴム工業株式会社/ヴィクトリー/Betamotor Japan/ホンダモータサイクルジャパン/株式会社トライボジャパン/GASGAS エネルギー/矢岳高原活性化委員会/宮崎トライアル部会/福元洋食店/株式会社南国きのこ/宮崎県自動車整備振興会/アッドブレインズジャパン/京町温泉旅館組合/有限会社終山水道設備/えびの部品商会/川畑商店/株式会社稲村自動車/窪田不動産/KCAA南九州/セブンイレブンえびの飯野店/遠目塚木材工業 株式会社/アイズサイン/有限会社ジュンモータース/大門サイクル商会/有限会社東康夫養鶏場

氏川政哉が一步リード それでも続く乱戦模様 2026年はおもしろい!

新チャンピオン最右翼だった氏川の3連勝はならなかった。代わって勝利は柴田暁。初優勝で現役ライダー5人目の勝者となった。このシーズン、新たな勝者はまだ現れるのか、それとも?



ランキングのトップ3が並んだ第3戦の表彰式、左から氏川政哉、柴田暁（親子）、武田呼人。



IAS 柴田暁



IAS 武田呼人

IAS 国際A級スーパー

全日本選手権、そのトップクラスであるIASクラスはたった10人+αしか参戦できない。さらにそんな中で勝利するのは、並大抵ではない。現役ライダーの中で、このクラスで勝利の実績があるのは、黒山健一（97勝・負傷欠場中）、小川友幸（58勝）、野崎史高（12勝）、氏川政哉（9勝）、小川毅士（2勝）の5人のみだった。そこへ、新たな勝ち名乗りを上げたのが柴田暁。第3戦北海道・和寒大会で初勝利を挙げた。柴田がIASに参戦を始めたのは2009年からだから、18年目の初優勝、ということになる。

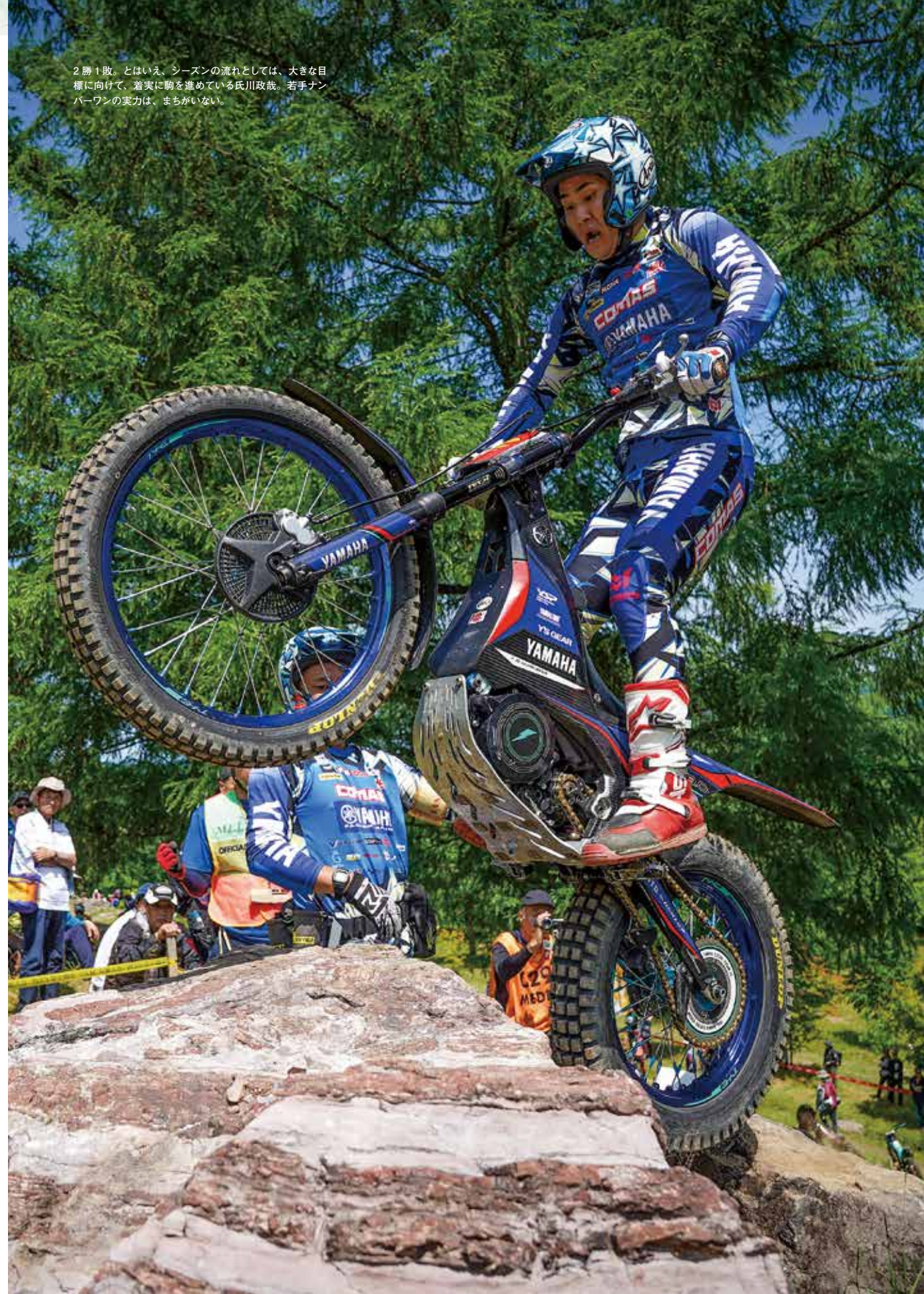
ヤマハとホンダのファクトリーマシンが真っ向勝負をするのは、世界選手権でも見られない貴重なトライアルシーン。日本にいながらそれが見られる日本のファンは、超ラッキーだ。

ランキングは2連勝して3戦目に2位となった氏川がダントツ。しかし初勝利した柴田や、3戦連続表彰台獲得の武田呼人など、今後氏川を安心させはしない多くの才能がこのクラスにはひしめている。もちろん武田が本格的に氏川の好敵手となるには、自身の初優勝は不可欠だ。毎回勝利はすぐそこにあった。惜しい度合いはどんどん増しているから、今回あたり、その時が来るかもしれない。

そして去年の負傷から着々と復活の道を歩むV14チャンピオン小川友幸、去年初めてランキング3位を得て今年にはニューマシンに乗り換えた小川毅士、新たなマシン体制で得手入り調子の久岡孝二も、今シーズンのこれからの活躍がおおいに楽しみ。

少数精鋭の2026年IASクラス。セクションの厳しさ、ライダーの技術の高さ、研ぎすまされた勝負の緊張感。トライアル観戦の究極の魅力が、えびの高原で華麗に繰り広げられる。

2勝1敗。とはいえ、シーズンの流れとしては、大きな目標に向けて、着実に駒を進めている氏川政哉。若手ナンバーワンの実力は、まちがいない。



混戦が面白い今年のIAクラス 各クラス、初優勝が生まれる今シーズン

ここまで3クラス3戦、最大9人の勝者が生まれていることになるが、うち5人が初優勝。新しいうねりが、生まれ始めている。宮崎のこの地で、その流れは加速するのか――

IA 国際A級

LTR レディース

IB 国際B級



IA 宮澤陽斗



IA 黒山太陽



LTR 中川瑠奈



LTR 寺澤心結



IB 辻本雄河

IASクラスに人数制限が敷かれたことで、今年のIAクラスにはIASを走っていたライダーが多く参戦している。開幕2戦は、そんな元IASが勝利した。宮澤陽斗と浦山瑞希。彼らにとって、実はこれが、IAでも初優勝だった。

今シーズンは元IASの初優勝が続くのかと思われた第3戦、その壁を突き破った黒山太陽が初優勝。つま

りIAクラスは、今年になって全戦で初優勝が誕生している。4戦目の今回は、誰が初優勝するのか、あるいは2勝目をあげるのか。

LTR(レディース)クラスは、今年は参加者が少ない。そんな中、第2戦では女王たる中川瑠奈をやぶって中学生の寺澤心結が初優勝した。今後、うまさに加えてさらなる強さが備わってくるはず。手ごわい中学生の登場だ。

IBクラスでも、第3戦北海道大会で楠貴裕が初優勝した。IBでは誰が勝ってもおかしくない巡り合わせがよくあるのだが、楠は第2戦で3位(初入賞)、そして第3戦で初優勝と実力を確実化してきている。

安定感2勝の辻本雄河がリードするが、4戦目にして新たな勝利者が生まれても不思議ではなく、その戦いから目が離せない。

第3戦北海道・和寒大会(6/21)までのポイントランキング

IAS 国際A級スーパー

順位	ゼッケン	選手	マシン	チーム名	R1 愛知・岡崎		R2 もてぎ		R3までの合計獲得ポイント	R4 宮崎・えびの	
					順位	獲得ポイント	順位	獲得ポイント		順位	獲得ポイント
1	2	氏川 政哉	ヤマハTY-E 3.0	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	1	25	1	25	70		
2	5	柴田 暁	TRRS ONE RR	TEAM TRRS & NILS OIL	2	20	5	11	56		
3	7	武田 呼人	ホンダ RTL301RR	TEAM MITANI Honda	3	16	2	20	52		
4	4	野崎 史高	ヤマハTY-E 2.2	Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	7	9	3	16	35		
5	3	小川 毅士	ベータ EVO 2T	Wise Beta Racing	4	13	4	13	35		
6	6	久岡 孝二	ホンダ RTL301RR	HRC クラブ MITANI	5	11	6	10	34		
7	8	小川 友幸	ホンダ RTL301RR	TEAM MITANI Honda	6	10	7	9	30		
8	9	田中 善弘	ホンダ RTL301RR	HRC クラブばわくらふと & HD 八尾	6	8	8	8	24		
9	10	武井 誠也	ベータ EVO 2T	FINE&SWM&BETA	9	7	9	7	21		
10	11	平田 貴裕	SCORPA SCF-300	SCORPA JAPAN & チームエクセル	10	6	10	6	18		
11	12	高橋 寛牙	SHERCO STF	Sherco Japan	11	5	11	5	15		

IA 国際A級

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R3までの合計獲得ポイント	R4 宮崎・えびの	
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P		順位	獲得P
1	7	宮澤 陽斗	ベータ	1	25	5	11	2	20	56		
2	2	黒山 太陽	シェルコ	6	10	2	20	1	25	55		
3	10	平田 雅裕	スコルバ	2	20	4	13	3	16	49		
4	5	磯谷 玲	ベータ	3	16	3	16	7	9	41		
5	12	磯谷 郁	ベータ	4	13	7	9	4	13	35		
6	13	永久保 圭	ベータ	5	11	10	6	6	10	27		
7	9	浦山 瑞希	ホンダ	-	-	1	25	-	-	25		
8	8	岡村 将敏	TRRS	7	9	11	5	5	11	25		
9	3	本多 元治	ホンダ	9	7	6	10	-	-	17		
10	02	寺澤 迪志	ベータ	11	5	12	4	8	8	17		
11	57	山崎 頌太	ベータ	10	6	8	8	-	-	14		
12	14	中里 侑	TRRS	8	8	24	0	-	-	8		
13	16	村田 慎示	ホンダ	15	1	9	7	-	-	8		
14	17	尾藤 正則	シェルコ	12	4	-	-	12	4	8		
15	29	神長 叡摩	シェルコ	16	0	16	0	9	7	7		
16	26	Chen wenmao	ホンダ	-	-	-	-	10	6	6		
17	25	村田 隼	ヴェルティゴ	19	0	15	1	11	5	6		
18	24	小谷 徹	ホンダ	-	-	13	3	15	1	4		
19	61	袋井 就介	EM	-	-	22	0	13	3	3		
20	20	小椋 陽	ホンダ	13	3	-	-	-	-	3		
21	46	佐伯 竜	ベータ	21	0	20	0	14	2	2		
22	22	鈴木 克敏	ホンダ	17	0	14	2	-	-	2		
23	43	徳丸 新伍	ホンダ	14	2	-	-	-	-	2		

LTR レディース

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R3までの合計獲得ポイント	R4 宮崎・えびの	
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P		順位	獲得P
1	1	中川 瑠菜	ベータ	1	25	2	20	1	25	70		
2	4	寺澤 心結	ベータ	2	20	1	25	2	20	65		
3	9	アハ輝リカ	TRRS	-	-	3	16	3	16	32		
4	2	小玉 絵里加	TRRS	3	16	-	-	-	-	16		
5	8	清水 さやか	ホンダ	4	13	-	-	-	-	13		

IB 国際B級

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R3までの合計獲得ポイント	R4 宮崎・えびの	
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P		順位	獲得P
1	10	辻本 雄河	TRRS	1	25	1	25	10	6	56		
2	51	楠 貴裕	ホンダ	22	0	3	16	1	25	41		
3	24	岩間 隆介	ホンダ	4	13	2	20	16	0	33		
4	1	林 大作	TRRS	3	16	-	-	3	16	32		
5	18	河野 剛	TRRS	9	7	4	13	5	11	31		
6	30	米澤 健	ホンダ	28	0	11	5	2	20	25		
7	3	青山 宏	ホンダ	8	8	5	11	14	2	21		
8	19	上福浦 明男	ベータ	2	20	-	-	-	-	20		
9	9	袋井 隼介	シェルコ	19	0	10	6	8	8	14		
10	21	八木 修生	TRRS	42	0	21	0	4	13	13		
11	85	山田 敬典	ホンダ	5	11	-	-	-	-	11		
12	72	鈴木 颯馬	ベータ	39	0	15	1	6	10	11		
13	62	関田 志毅	ベータ	14	2	7	9	-	-	11		
14	83	鈴木 大空翔	ホンダ	35	0	12	4	9	7	11		
15	11	中村 雄樹	GASGAS	29	0	6	10	-	-	10		
16	28	三好 一也	モンテッサ	6	10	-	-	-	-	10		
17	87	岩見 秀一	GASGAS	26	0	-	-	7	9	9		
18	14	元吉 裕一	ベータ	7	9	-	-	-	-	9		
19	4	大内 朋幸	ヴェルティゴ	-	-	8	8	-	-	8		
20	60	横森 一樹	ホンダ	-	-	9	7	-	-	7		
21	22	栗原 賢司	ホンダ	49	0	13	3	12	4	7		
22	15	梶山 政登	ホンダ	10	6	-	-	-	-	6		
23	26	渡辺 洋輔	GASGAS	-	-	-	-	11	5	5		
24	2	西村 健志	TRRS	11	5	18	0	-	-	5		
25	82	斎江 知興	TRRS	12	4	-	-	-	-	4		
26	69	高山 和広	TRRS	55	0	40	0	13	3	3		
27	88	高橋 大介	ホンダ	13	3	-	-	-	-	3		
28	31	斎藤 隆志	ホンダ	36	0	14	2	-	-	2		
29	27	三好 弘祐	GASGAS	-	-	25	0	15	1	1		
30	20	辻本 龍司	ベータ	15	1	-	-	-	-	1		

2026 全日本トライアル選手権 開催スケジュール

R1	愛知・岡崎	4/12	キョウセイドライブバーランド
R2	もてぎ(栃木)	5/31	モビリティリゾートもてぎ
R3	北海道・和寒	6/21	わっさむサーキット
R4	宮崎・えびの	7/12	えびの市矢岳高原トライアルコース
R5	広島・三次灰塚	9/13	灰塚ダムトライアルパーク
R6	宮城・SUGO	10/11	スポーツランド SUGO
R7	和歌山・湯浅	10/25	湯浅トライアルパーク
R8	City Trial Japan 調整中	調整中 (IASのみ)	

ランキング表の作り方

第4戦宮崎・えびの大会の結果による「順位」と「獲得ポイント」を記入してください。第3戦(R3)までのポイントに計算することで、第4戦(R4)終了時点の合計ポイントが算出されます。この合計ポイントが多い順に、最新のランキングが決定します。

全日本選手権では1位から15位までに、順位に応じたランキングポイントが与えられる。獲得ポイントを集計して、ランキング順位が決定するが、同点の場合、最上位成績のよい者が上位。さらに同順位の場合は、直近大会の成績がよい者が上位となる。最終ランキングは委員会で精査して決定、発表される。

順位により取得できるポイント

1位 25P / 2位 20P / 3位 16P / 4位 13P / 5位 11P / 6位 10P / 7位 9P / 8位 8P / 9位 7P / 10位 6P / 11位 5P / 12位 4P / 13位 3P / 14位 2P / 15位 1P

国際A級スーパー
International A Super Class

2 氏川 政哉
Seiya UJIKAWA / YAMAHA



三重県四日市出身の23歳。自転車、TRGC、IB、IAとチャンピオン総なめにして2018年からIASを走っている。ここまでに9勝。2024年からヤマハTY-Eに乗り、IASでのEV初勝利をあげた。2026年は開幕2連勝。

5 柴田 暁
Akira SHIBATA / TRRS



SS男の異名もとる、超人的走破力を発揮する元気いっぱい的大阪人。2026年開幕戦で2位入賞してシーズンをスタート、第3戦ではついに初優勝を得た37歳の注目株。イベントの主催にも積極的に取り組んでいる。

8 小川 友幸
Tomoyuki OGAWA / Honda



歴代最多のV14王者。デモにスクール、バイクによる災害支援、動画配信、イベント主催と大活躍だが、昨年は負傷で大半を欠場、今季はカムバック戦となる。三重県四日市出身49歳。全日本勝利数は58勝。

11 平田 貴裕
Takahiro HIRATA / Scorpa



IASでの負傷からIAを2年走り、チャンピオンを獲得してIASに復帰を果たした。愛知県の37歳。2006年IBチャンピオン、2025年IAチャンピオン。兄の雅裕と入れ替わりでIASを走る権利を得た。

3 小川 毅士
Tsuayoshi OGASA / Beta



全日本2勝目、初めてのランキング3位と、39歳にして大きな成長実績を残した2025年。トップ争いに欠かせぬひとりだ。茨城県オフロドパークSHIRAI管理人。トライアル・デ・ナシオン2連覇の一員でもある。

6 久岡 孝二
Koji HISAKA / Honda



2025年、初めて3位表彰台を獲得し、特徴たるスケールの大きなライディングを武器に、さらに上位を目指す。2016年IAチャンピオン。岐阜出身26歳。今年はHondaに乗り換えて4年目となる。

9 田中 善弘
Yoshihiro TANAKA / Honda



黒山健一、小川友幸といっしょに育った石川県の大ベテラン49歳。堂々トップ10に入り、今年もIASを走る権利を得た。IAでは2度のチャンピオンを獲得して、IB時代には藤波貴久を破った実績もある。

12 高橋 寛牙
Hiroki TAKAHASHI / Sherco



16歳でTRGC 2位、17歳でIB 3位、22歳のIAでは2勝をしながら惜しいところでタイトルを逃したが、無冠の帝王としてIASに挑戦。若いV1ワーカーがどこまで結果につながるか、楽しみ。神奈川県出身の23歳。

4 野崎 史高
Fumitaka NOZAKI / YAMAHA



自転車世界選手権、2002 FIMジュニアカップ、全日本IAとタイトルを獲得。2024年は負傷で半分を欠場したが、2025年にはカムバック勝利を飾り、全日本勝利数を12勝とした。埼玉県小川町出身、42歳。

7 武田 呼人
Yohito TAKEDA / Honda



2019年IAチャンピオン。3年間のスペイン修業を経て全日本に復帰。2024年シーズンオフにひざの手術も受けたが、心機一新のHondaでの2年目。今シーズンは3連続表彰台と気を吐く三重県多気町出身の24歳。

10 武井 誠也
Masaya TAKEI / Beta



2018年IAチャンピオン。IAS昇格後はランキング10位以内を守り、SS常連の地位を固めつつある。現在までの最上位は7位。山梨出身の明るい29歳は、マシンを乗り換えて2年目、さらに上位を狙う。

前年ランキング10位までとIAからのあがってきた数名による、まさに一握りの日本の頂点ライダーによる戦い。セクション難易度の高さも半端ではない。一日の最後におこなわれるSS決戦まで、IASの戦いは一日中、目が離せない。今シーズンは氏川政哉の好調が光るが、その流れを止めるライダーは現れるか？

国際A級 International A Class

2 黒山 太陽
Tao KUROYAMA / Sherco



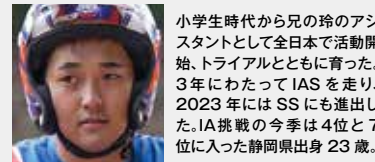
兄ふたり、父、おじさん、おじいさんがみんな国際A級のトライアル一家。弱冠14歳にしてIA参戦4年目。IAS進出を見送り、兄に続く、このクラスでのタイトル獲得を目指す。第3戦でついに念願の初勝利を得た。

7 宮澤 陽斗
Haruto MIYAZAWA / Beta



2017年TRGC優勝、2019年にIA昇格し、2024年IAランキング2位でIAS入り。2度のSS進出などの活躍を見せてつ、今シーズンは再びIAに。開幕戦で自身初めてのIA優勝を得る。茨城県出身の22歳。

12 磯谷 郁
Kaoru ISOGAYA / Beta



小学生時代から兄の玲のアシスタントとして全日本で活動開始、トライアルとともに育った。3年にわたってIASを走り、2023年にはSSにも進出した。IA挑戦の今季は4位と7位に入った静岡県出身23歳。

今大会は、少数精鋭の18名の参加となった。チャンピオンシップを戦う上では、ここに参加して上位を目指すのは重要な戦いになる。いつもなら、層の厚い参加者層の中から上位にどう駒を進めるかがこのクラスの戦いの注目点となるが、今回はいつもとはちょっとちがう戦い方が見られるにちがいない。

3 本多 元治
Motoharu HONDA / Honda



1991年IB、2001年IAチャンピオン獲得、2002年にIASを経験した後、IAにスポット参戦して優勝する職人技を披露している。埼玉出身52歳。埼玉のオラガバレーでトライアルの先生業にも忙しい。

8 岡村 将敏
Masatoshi OKAMURA / TRRS



栃木県出身50歳。茨城県真壁トライアルランドを拠点に、若手入門ライダーの育成に尽力している。2015年IAチャンピオンで、11年間IASを走った。関東ライダーの筆頭株として、若手に負けじとがんばる。

13 永久保 圭
Kei NAGAKUBO / Beta



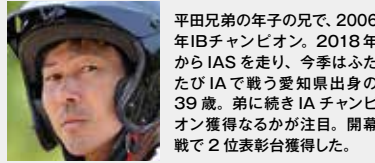
ジュニアライセンスから一気にIB昇格、IB2年目でIAに昇格した静岡県出身14歳の天才。2025年はあと一歩でIAS進出を逃した。元IASの恭平が父。実家はトライアルショップのトライアル一家。

5 磯谷 玲
Akira ISOGAYA / Beta



9年間のIAS挑戦を経て、IAで新たな挑戦に挑む。毎戦トップ争いから入っている。そのトライアルスタイルは独特で楽しい。父、姉、弟とみんなライダーのトライアル一家。静岡で小学校の先生を務める30歳。

10 平田 雅裕
Masahiro HIRATA / Scorpa



平田兄弟の年子の兄で、2006年IBチャンピオン。2018年からIASを走り、今季はふたたびIAで戦う愛知県出身の39歳。弟に続きIAチャンピオン獲得なるかが注目。開幕戦で2位表彰台獲得した。

02 寺澤 迪志
Yushi TERAZAWA / Beta



IBランキング2位で昇格を果たした成長株のルーキー、愛知県出身の14歳。全日本は3年目になる。元IASのTRProduct代表、寺澤慎也の長男、レディースの寺澤心結は妹。こちらもトライアル一家。

レディース Ladies Trial Class

1 中川 瑠菜
Runa NAKAGAWA / Beta



2023年にIB昇格、2025年にレディースの王座を射止めた。愛知県出身の大学生は、2年連続のレディースチャンピオンを狙う。今シーズンもチャンピオン最右翼に位置づけられるのはまちがいない。

4 寺澤 心結
Miyu TERAZAWA / Beta



寺澤家の小さな大型新人、13歳。2025年は7戦中5戦に出場、うち4戦で3位となった。小さなからだがハンディとなっている面は否めないが、それだけにテクニックが光る。今季は第2戦で見事な初優勝を遂げた。

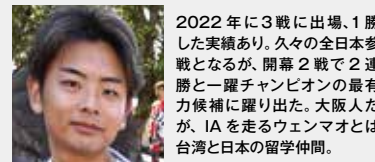
9 ソアレス米澤ジェシカ
Jessica YONEZAWA SOARES / TRRS



ブラジル出身の異色全日本ライダー。2018年からこのクラスに参戦、何度かの負傷欠場を経て、走れることをなよりの喜びとする。彼女の存在が、日本のレディースにひととき明るい光を注ぎ込んでいる。

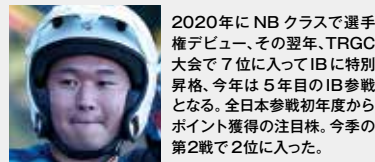
国際B級 International B Class

10 辻本 雄河
Yuga TSUJIMOTO / TRRS



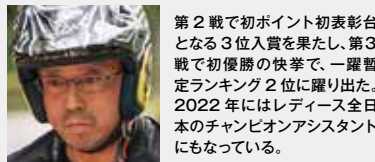
2022年に3戦に出場、1勝した実績あり。久々の全日本参戦となるが、開幕2戦で2連勝と一躍チャンピオンの最有力候補に躍り出た。大阪人だが、IAを走るウエンマオとは台湾と日本の留学仲間。

24 岩間 隆介
Ryusuke IWAMA / Montesa



2020年にNBクラスで選手権デビュー。その翌年、TRGC大会で7位に入ってIBに特別昇格。今年5年目のIB参戦となる。全日本参戦初年度からポイント獲得の注目株。今季の第2戦で2位に入った。

51 楠 貴裕
Takahiro KUSUNOKI / TRRS



第2戦で初ポイント初表彰台となる3位入賞を果たし、第3戦で初優勝の快挙で、一躍暫定ランキング2位に躍り出た。2022年にはレディース全日本のチャンピオンアシスタントにもなっている。

出場ライダープロフィール 全日本トライアル選手権第4戦宮崎・えびの大会

エントリーリスト 全日本トライアル選手権 第4戦宮崎・えびの大会

各ライダーのスタート時間は MFJ 公式トライアルファンサイト「TRJ」をご確認ください。https://mspro.jp/trj/



IAS 国際A級スーパー 10セクション×2ラップ (持ち時間: 4時間30分) + SS × 2セクション

ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント		
2	氏川 政哉	ウジカワ	セイヤ	三重	YAMAHA FACTORY RACING TEAM YAMAHA	TY-E3.0	田中 裕人	
3	小川 毅士	オガワ	ツヨシ	茨城	Wise Beta Racing	Beta	SINCRO FACTORY 2T	木下 裕喜
4	野崎 史高	ノザキ	フミタカ	埼玉	Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	YAMAHA	TY-E 2.2	関口 康太
5	柴田 暁	シバタ	アキラ	大阪	TEAM TRRS & NILS oil	TRRS	TRRS300RR injection	中谷 博彦
6	久岡 孝二	ヒサオカ	コウジ	岐阜	HRC クラブ MITANI	Honda	RTL301RR	久岡 誠二
7	武田 呼人	タケダ	ヨヒト	三重	TEAM MITANI Honda	Honda	RTL301RR	加賀 国光
8	小川 友幸	オガワ	トモユキ	三重	TEAM MITANI Honda	Honda	RTL300R	田中 裕大
9	田中 善弘	タナカ	ヨシヒロ	石川	HRC クラブばわあくらふと & HD 八尾	Honda	RTL 301RR	松谷 実
10	武井 誠也	タケイ	マサヤ	埼玉	FINE&SWM&BETA	Beta	SINCRO FACTORY 2T	武井 明信
11	平田 貴裕	ヒラタ	タカヒロ	愛知	SCORPA JAPAN & チームエクセル	SCORPA	SCF-300	平田 篤
12	高橋 寛牙	タカハシ	ヒロキ	神奈川	sherco japan	SHERCO	STF	日下 達也

IA 国際A級 10セクション×2ラップ (持ち時間: 4時間30分)

ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント		
2	黒山 太陽	クロヤマ	タオ	兵庫	ShercoJapan	SHERCO	300ST	黒山 二郎
3	本多 元治	ホンダ	モトハル	埼玉	Fine&OragaValleyTRIALS	Honda	RTL301RR	
5	磯谷 玲	イソガヤ	アキラ	静岡	Beta TRproduct	Beta	SINCRO	磯谷 豊
6	野本 佳章	ノモト	ヨシアキ	群馬	モトベント & BETA	Beta	Evo 2T	
7	宮澤 陽斗	ミヤザワ	ハルト	茨城	Team Wise	Beta	Evo 2T	宮澤 富士夫
8	岡村 将敏	オカムラ	マサシ	栃木	TEAM TOPDOGS	TRRS	ONE-RR	
10	平田 雅裕	ヒラタ	マサヒロ	愛知	SCORPA JAPAN & チームエクセル	SCORPA	SCF-300	
12	磯谷 郁	イソガヤ	カオル	静岡	Beta TRproduct	Beta	SINCRO 2T	
13	永久保 圭	ナガクボ	ケイ	静岡	TEAM BIGBOX BETA	Beta	SINCRO FACTORY 2T	永久保 恭平
16	村田 慎示	ムラタ	シンジ	三重	HRC クラブ MITANI	Honda	RTL260R	上田 万法
17	尾藤 正則	ビトウ	マサノリ	岡山	TEAM Beat & ZEON	SHERCO	ST-F300 FACTORY	寺岡 昭雄
18	小野田 理智	オノダ	マサノリ	千葉	SHERCO JAPAN & MTO-2	SHERCO	ST-F	
24	小谷 徹	オダニ	テツ	京都	アズーロ	Honda	RTL300	橋口 智彦
25	村田 隼	ムラタ	ハヤト	三重	VERTIGO with MITANI	Vertigo	NITRO2.5	村上 慈恩
26	Chen WenMao	チェンウエンマオ		大阪	HRCばわあくらふと & ホンダドリーム八尾	Honda	RTL301RR Mao Special	小玉 健二
28	西 和陽	ニシ	カズアキ	鹿児島	CLUB MWM	Montesa	コタ 301RR	
29	神長 叡摩	カミナガ	エマ	栃木	Sherco JAPAN & TOP DOGS	SHERCO	ST-F	神長 利行
32	小谷 一貴	コタニ	カズキ	京都	アズーロ	Honda	RTL301R	
02	寺澤 迪志	テラザワ	コウジ	愛知	Team Beta TRproduct	Beta	Evo 2T 250 FACTORY	山森 篤志
43	徳丸 新伍	トクマル	シンゴ	宮崎	HRC クラブばわあくらふと & HD 八尾	Honda	RTL301RR	
48	波田 親男	ナミタ	チカオ	兵庫	チーム ナミタ TRRS	TRRS	ラガ 300RR	岩見 秀一
51	河津 浩二	カワツ	コウジ	福岡	iRC 高倉トライアル	Beta	Evo 2T 300	
60	喜屋武 蔵人	キヤク	クロウ	神奈川	OragaValleyTRIALS	SHERCO	STF-300E	
63	中野 禎彦	ナカノ	ヨシヒコ	福岡	チーム二次元 & 高倉	Beta	Evo 2T	
64	橋本 隆之	ハシモト	タカユキ	福岡	高倉トライアル	Honda	RTL301RR	

LTR レディース 10セクション×2ラップ (持ち時間: 4時間30分)

ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント		
1	中川 瑠菜	ナカガワ	ルナ	愛知	Wise Beta Racing	Beta	SHINCRO	中川 芳治
4	寺澤 心結	テラザワ	ミユ	愛知	Team Beta TRproduct	Beta	Evo 2T 125	山森 あゆ菜
9	ソリア米澤	ソリア	ミナモト	愛知	TEAM そらしど IRC	TRRS	ONE RR	
11	泉 心愛莉	イズミ	ミアリ	滋賀	team そらしど	MECATECNO	DRAGONFLY	泉 聖輝

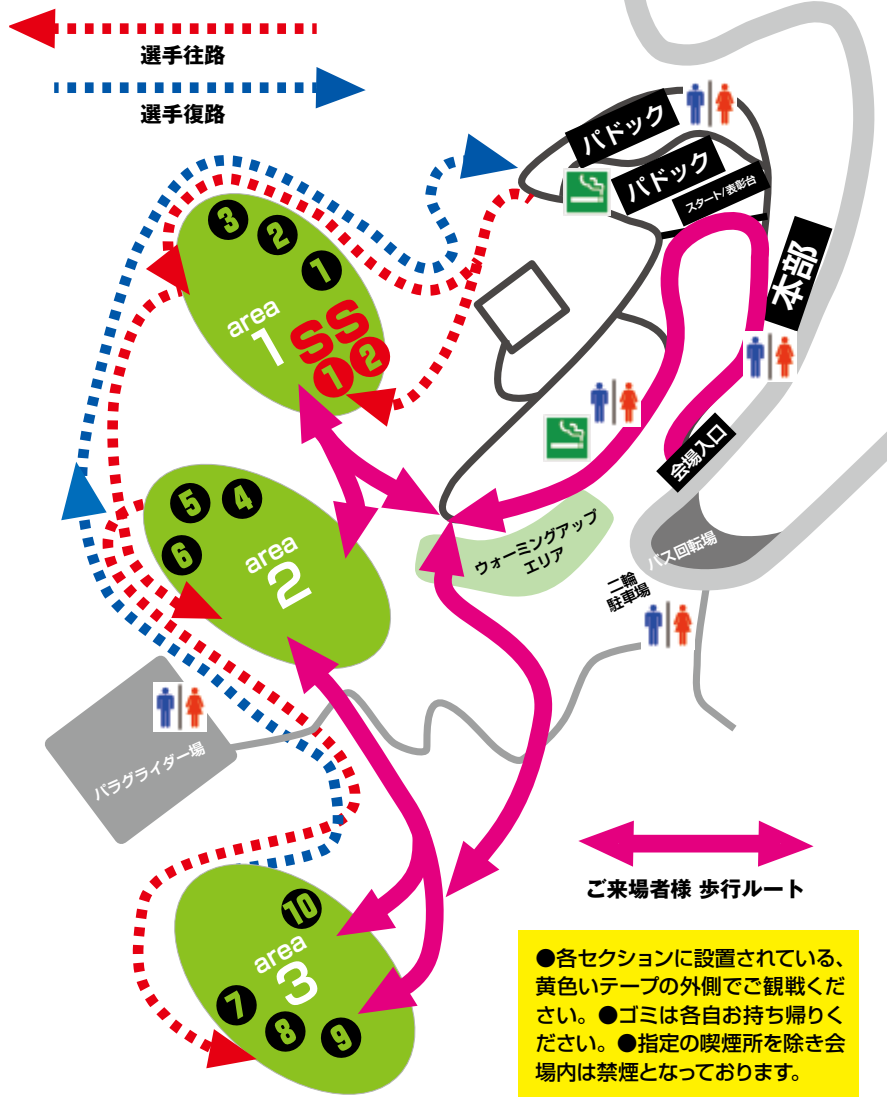
IB 国際B級 10セクション×2ラップ (持ち時間: 4時間30分)

ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント		
1	林 大作	ハヤシ	ダイサク	広島	ケニーズクラブ、セトウチベース	TRRS	300 ONE RR	野田 大作
2	西村 健志	ニシムラ	タクシ	滋賀	トライアルクラブ Tom's	TRRS	FI300	
3	青山 宏	アヤマ	ヒロシ	滋賀	チームアズーロ	Honda	RTL260R	金本 豊
8	西 宏次	ニシ	コウジ	山口	チーム周南	Montesa	COTA301RR	
9	袋井 棕介	フクロイ	リュウスケ	神奈川	IRC タイヤ	SHERCO	STR250	袋井 賢悟
10	辻本 雄河	ツジモト	ユウガ	大阪	長野車業 近藤マツチ Racing	TRRS	300i	
16	甲斐 秀人	カイシュウ	ト	大分		Honda	RTL300R	
17	西沢 明人	ニシザワ	アキト	埼玉	Oraga Valley TRIALS	Honda	RTL301RR	
18	河野 剛	コノ	ツヨシ	兵庫	TEAM ばわあくらふと	TRRS	TR1 300	
19	上福浦 明男	カミフクウラ	アキオ	広島	VARME TRYCROSS	Beta	Evo 2T	
20	辻本 龍司	ツジモト	タツジ	大阪	近藤マツチ Racing	TRRS	300i	
22	栗原 賢司	クリハラ	ケンジ	群馬	上州トライアル&モトベント	Honda	RTL260 R	
23	田中 聖志	タナカ	キヨシ	東京	チーム羽生山	Beta	Evo 2T	
24	岩間 隆介	イワマ	リュウスケ	静岡	HRC クラブショウナイ	Honda	RTL300R	
27	三好 弘祐	ミヨシ	ヒロスケ	京都	チームテクニカル	GASGAS	TXT	
28	三好 一也	ミヨシ	カズヤ	徳島	TEAM-PAZZO	TRRS	TR 300	
30	米澤 健	ヨネザワ	ケン	愛知		Honda	RTL300R	
32	藤川 一夫	フジカワ	カズオ	栃木	TEAM TOPDOGS	Beta	Evo 2T	
35	奥田 欽哉	オクダ	キンヤ	三重	TEAM MITANI	TRRS	ONE GOLD 300	
40	後藤 研一	ゴトウケンイチ		鹿児島	鹿児島トライアルチームやじろべえ+PPG	GASGAS	RACING TXT	
41	前田 将樹	マエダ	マサキ	静岡	ヤマハ発動機トライアルクラブ	YAMAHA	TYS250Fi	
47	荒川 一佳	アラカワ	カズヨシ	岡山		SHERCO	ST300	
51	楠 貴裕	クスノキ	タカヒロ	愛知	Club GEOMAX	Honda	RTL260R	
52	奥村 佳浩	オカムラ	ヨシヒロ	大阪		Vertigo	NITORO	
53	宮嶋 清次	ミヤジマ	キヨツギ	静岡	club MWM	Montesa	COTA300RR	
54	道上 耕司	ミチカミ	コウジ	徳島	TEAM PAZZO	Beta	Evo 2T 300	
55	辰己 直	タツミ	ナオ	和歌山	TAKESHI 軍団	TRRS	ONE RR	飯田 修
61	古市 右京	フルイチ	ウキョウ	埼玉	HRC クラブ MITANI	Honda	RTL260R	
69	高山 和広	タカヤマ	カズヒロ	茨城	TOP DOGS	TRRS	ONE	
72	鈴木 颯馬	スズキ	フウマ	埼玉	team KOMA	Beta	Evo 2T	鈴木 祐
73	市村 謙太郎	イチムラ	ケンタロウ	栃木	Bergbach/ 嵐山不老天狗	Beta	Evo 2T	
81	百瀬 伸一	モモセ	シンイチ	東京	Team Oragavalley Trials SUR	Beta	SINCRO	
83	鈴木 大空翔	スズキ	タク	鳥取	ヒロスポーツクラブ	Honda	RTL301RR	
86	長谷部 佑弥	ハセベ	ユウヤ	埼玉	Honda ブルーヘルメット MSC	Honda	RTL300R	
92	小淵 颯輝	コブチ	サツキ	静岡	ヤマハ発動機トライアルクラブ	EM	Epure Race	
93	荒生 和人	アラオ	カズト	山形	HRC クラブ荘内 & ホンダドリーム酒田・秋田	Honda	RTL300R	
96	五十嵐 大樹	イカラシ	ダイキ	広島		Beta	Evo 2T	
98	野中 剛	ノナカ	タクシ	茨城	TEAM RIDE MAGIC	TRRS	ONE	
103	佐藤 定光	サトウ	サダメツ	宮崎		SHERCO	st 3.0	
110	後藤 潤一	ゴトウジュンイチ		群馬	上州トライアル	Beta	Evo 2T	
111	国領 孝	コクノリョウ	タカシ	神奈川	ライディングマスター	TRRS	300RR-E	
114	大西 弘晃	オオニシ	ヒロアキ	岡山		EM	epure	
116	前田 浩二	マエダ	コウジ	鹿児島	鹿児島トライアルチームやじろべえ	Honda	RTL301RR	
117	阿部 一弘	アベ	カズヒロ	埼玉	Team KOMA	Beta	Evo 2T	
118	金子 俊介	カネコ	ジュンスケ	三重	トライアルクラブ Tom's	TRRS	ONE RR	
119	笹原 智紘	ササハラ	トモヒロ	長崎	TEAM RIDE MAGIC	TRRS	ONE RR	
120	浦中 信宏	ウラナカ	ノブヒロ	熊本	植木トライアルクラブ	Beta	Evo 2T	
121	光 元吉	ヒカリ	モトヨシ	鹿児島	鹿児島トライアルチーム・やじろべえ	Vertigo	ニトロ	
122	鯉島 哲郎	サメジマ	テツロウ	鹿児島	鹿児島トライアルチームやじろべえ	Honda	RTL-300R	

全日本トライアル選手権 第4戦 宮崎・えびの大会

矢岳高原トライアルコース

ベルトンキャンプ場



●各セクションに設置されている、黄色いテープの外側でご観戦ください。●ゴミは各自お持ち帰りください。●指定の喫煙所を除き会場内は禁煙となっております。

1 ~ 10

セクション (採点区間)

10セクション×2ラップ
持ち時間: 4時間30分

スタート時間 (1分1台・順次スタート)

IB 国際B級	7:30 ~
LTR レディース	8:21 ~
IA 国際A級	8:30 ~
IAS 国際A級スーパー	9:00 ~

SS 1 2

SS (スペシャル・セクション)

IAS 国際A級スーパー 14:30 ~
上位10名のみ

- ① よりトライ (1回のみ)
- ② 全員のトライを終えたらへ移動します
- ③ SS2が終わるとIASの競技結果が出ます

2026年ルールはスタンダード基準に

2025年、2026年と、MFJトライアルルールは変革を受けています。ライダーの技術をしっかり楽しむために、規則の変更を知っておきましょう。

足をつかないバックができるようになった昨年の変更にそのままですが、セクション内をぐるぐるループするのは5点対象となりました。世界選手権など、トライアルの標準的ルールに戻った、といえるかもしれません。

自分のゲート (IASなら赤地に黄文字、など) 以外を通ると5点になるものそのまま。ラインを乱した場合など、通るべきラインを見きわめながら進路を確認していくむずかしさが出てきます。ゲートの種類や位置が確認できれば、観戦の興味も深まることでしょう。

トライアルルールは多岐にわたり複雑ですが、それだけに、理解を深めれば、見えるものがちがってくるのです。

トライアルバイクの基礎知識

どこまで知ってますか?

スリムで軽そう! パワーはあるの?

シートがない? 立って乗るバイク?

ライディングポジションを自由にとれるよう、足つき性をよくするよう、トライアルマシンにはシートがないものが多いです。軽量化にも一役買っています。

サスペンションは独特の仕様

サスペンションは、トライアルの鍵を握っています。特にリヤサスは、タイヤのグリップ力にも影響あり、様々なアクションのきっかけにも、サスペンション特性は大きく働きます。その特性は、ライダーの好みによっても千差万別です。

タイヤのブロックがキャラメルみたい

オフロードタイヤらしいブロックパターンだけど、規則で環境にやさしいようにパターンは決まっています。ゴム質はきわめてやわらかく地形を包み込み、空気圧は30KPa前後と低圧にセットします。



Honda RTL 日本 スペイン

2005年の登場以来、基本は変えず、着実な進歩を刻んでいる名車。モンテッサは別ブランドで、中身は同一。これとは別に、武田呼人と小川友幸が乗るマシンは世界チャンピオンのトニー・ボウらが乗るファクトリーマシン。ツインプラグ仕様で、高嶺の花の貴重なマシンになる。

エンジン下にプレートがある

原動機を衝撃から守るためのガードですが、岩の上に乘せて安定させる意味合いもあるので、スキッドプレートと呼ばれます。

エンジンとモーター どちらでもいいの?

トライアルは、原動機の制限がほとんどなし。500ccでも250ccでも、モーターでも同じ土俵で勝負です。全日本選手権では250cc~300ccの水冷エンジンが多いです。

最新トライアルバイクカタログ



ヤマハが全精力を挙げて開発した電動マシン。3.0は第3世代で、機械式クラッチとトランスミッションを装備している。ミッションのない、それまでの2.2とは、すべて別物だといえる。とはいえ2.2も、野崎史高が好結果を出している。最新の3.0には黒山健一 (負傷休場中) と氏川政哉が乗る。



モンテッサと並ぶ老舗トライアルメーカー。世界、全日本とも多くのチャンピオンを輩出している。見た目が同じだが、バリエーションは豊富に揃う。



J・タレスが興した新鋭メーカーで、いち早くセルスタートを採用しシェアを広げた。伝統的2ストエンジンに剛性の高いアルミフレームの組み合わせる。



創業して四半世紀をすぎ、フューエルインジェクションを装備してさらなるステップに進む。スコルパはシェルコが作る別ブランドで、中身は同一。



1974年創業でトライアルでは老舗。J・タレス、A・ララのタイトルで、性能には定評あり。現在はKTMのブランドとしてトライアルの伝統を守る。



フューエルインジェクション (FI)、エンジン上面、エアクリナー、トラスフレームの意欲的構成。2ストFIを熟成させたのはこのマシンだった。



元スコルパ社長が興した電動メーカー。写真はトランスミッション装備の三世目 FACTORe。小回りの利いた開発が小さなメーカーの大きな強みだ。

トライアルのルール

- 減点0 (クリーン) ... 1分以内にセクション (採点区間) 内を足を着くことなく通過
- 減点1 ... 1分以内に足つき (腕や頭も同様) 1回のみでセクションを通過
- 減点2 ... 1分以内に足つき (腕や頭も同様) 2回のみでセクションを通過
- 減点3 ... 1分以内に足つき (腕や頭も同様) 3回以上でセクションを通過
- 減点5 ... 落車、セクション離脱、足つき後退、ループ、セクション走破に1分以上かかったなど "失敗" した場合
- 加算ペナルティ ... ライダーまたはアシスタントが故意にセクション地形を変化させた場合
- 持ち時間 ... スタートからゴールまで、各ライダー同じ持ち時間。1分超過ごと1点減点
- 合計減点数 ... 各クラスの全セクションの減点数の最も少ない者より高い順位がつけられる
- 同点の順位決定 ... クリーン数が多い者が上位。以下、1点、2点の数が多いほうが上位
- すべて同じなら競技時間が短い者が上位
- アシスタント ... コース上では唯一マシンに触れることができる
- ライダーのトライ時にセクションに入り、失敗の際の手助けが可
- その他の失敗 ... マグネットキルスイッチが外れた、通過ゲートの誤りなど

「2026MFJ 全日本トライアル選手権シリーズ第4戦宮崎・えびの大会」
を応援しています。

- 【高千穂地区】
 - ・オートショップ土持
- 【延岡地区】
 - ・(株)阿部輪業
 - ・バイクプラザ延岡
 - ・サイクルオート トラトリ
 - ・レッドバロン延岡
 - ・バイクショップ カイホンダ
 - ・(株)バイクセンターながとも
- 【日向地区】
 - ・(株)車輪館
 - ・甲斐モーターズ
 - ・モトショップHOT
- 【児湯地区】
 - ・(株)丸三モーターズ
 - ・モト・ガレージT-SPEED
- 【佐土原地区】
 - ・岡田モーターズ
- 【宮崎地区】
 - ・カワサキプラザ宮崎



- 【宮崎地区】
 - ・(株)ユアサモーターズ
 - ・(株)東洋モーターズ
 - ・バイクショップアールズ
 - ・南海部品 宮崎店
 - ・バイクサポート宮崎 (株)齊藤輪業
 - ・(株)モトショップ ウィリー
 - ・ベスト ライダー
 - ・ホンダドリーム宮崎
 - ・ハーレーダビッドソン宮崎
 - ・(株)オートパークスカイ
 - ・(株)モトフィールド
 - ・オートショップ イシムラ
 - ・S. S. E
- 【えびの地区】
 - ・大門サイクル商会
- 【都城地区】
 - ・バイクショップRPM
 - ・(株)オートショップ ヒダカ
 - ・二輪工房 KENT

私たちは、一般社団法人宮崎県自動車整備振興会の会員工場です。

2026 MFJ 全日本トライアル選手権シリーズ第4戦
宮崎えびの大会を応援しています。



KYOMACHI ONSEN
ORIGINAL BRAND

京町温泉旅館組合

歓迎

全日本トライアル選手権
第4戦 宮崎・えびの大会

えびの部品商会

株式会社 稲村自動車

KCAA 南九州

遠目塚木材工業
株式会社

有限会社
ジュンモーターズ

えびの市商工会青年部

有限会社
柗山水道設備

川畑商店

窪田不動産

セブンイレブン
えびの飯野店

アイズサイン

大門サイクル商会

有限会社
東康夫養鶏場



元気のみなもと



力士いたけ

RIKISHIITAKE



福元洋食店

SENA



宮崎トライアル部会 

頑張れ地元ライダー！

国際A級

#43 徳丸新伍(都城市)

国際B級

#103 佐藤定光(宮崎市)

Rikizoh AIROH TRR II

NEW
MFJ公認
申請中!



Black Matt

Dark Gray Gloss

Blue/Yellow Gloss

Orange Matt

Yellow Matt

White Gloss

Red Gloss

Blue/Red Gloss

TRR II COLOR
¥47,300 (税込)

TRR II JUPITER
¥52,800 (税込)

TRR II HUNT
¥52,800 (税込)

サイズ: XS・S・M・L・XL・XXL 重量: 970g±50g 材質: 複合カーボン

POWER CRAFT ぱわあくらふと
〒574-0025 大阪府大東市御供田3-17-37
TEL 072-872-2141 FAX 072-870-5236
E-mail info@power-craft.co.jp
www.power-craft.co.jp



当店は、HRC (株式会社ホンダ・レーシング) から認定を受けた、HRC製品正規取扱店 (サービスショップ) です。
当店では、サービスショップだけが可能なHRC二輪製品の販売からメンテナンスに加え、各種HRCパーツやHRC補修パーツの販売まで、HRCの正規取扱店として皆様のレーシングシーンを強力にサポートします。



携帯サイト

SHERCO



SHERCO 2026 ST FACTORY/ST-E FACTORY

2026 シェルコ ST FACTORY シリーズが大きく進化しました。セルスターター仕様 ST-E (250、300のみ) と、キック始動のみの ST を選べます。改良されたクランクシャフト、デコンプレッサーヘッドなど、エンジン細部の改良とインジェクションの新しいマッピングにより、柔軟性のあるレスポンスとグリップ感を生み出しています。ライディングの妨げにならないスリム・コンパクトなスターターモーターの配置と形状、コンパクトなバッテリー。そしてイグニッションコイル、ワイヤーハーネス、オルタネーターなど改良点は多数。始動性を向上するインジェクションウエイクアップボタンを新装備。

MY2026 TRIAL
ST FACTORY
ST-E FACTORY

ST FACTORY 125	¥1,485,000 税込
ST FACTORY 250	¥1,485,000 税込
ST FACTORY 300	¥1,485,000 税込
ST-E FACTORY 250	¥1,540,000 税込
ST-E FACTORY 300	¥1,540,000 税込

*配送費用別途 ¥22,000 (税込) が必要になります。



SHERCO TY125 ADVENTURE

TY125 ADVENTURE
¥880,000 税込
※配送費用別途
¥22,000 (税込)
が必要になります。

4ストローク 125cc / セルスターター / エンジンを包み込むようにプレスされたアンダーガード / STと同じスイングアームとリンクシステム / MIKUNI 負圧キャブレター / 油圧クラッチ / チューブタイプのリアホイール / 10丁のトライアル用スプロケット付属 / 公道走行可・保安部品付き・MFJ公認車両。

*写真のタンク容量 4.7L の Long Ride Kit (シート付 4.7L 容量タンク / 税込 ¥72,600) は別売になります。

SHERCO JAPAN 〒240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄 512-1 TEL 046-875-0267 FAX 046-876-5020

<https://www.shercojapan.jp>

寅吉一家



— 代表 細江 正昭 —

全日本トリアル選手権
宮崎・えびの大会を応援しています。

GASGAS エネルギー

～お家まるごとオールインワンサポート～

福岡県田川郡川崎町池尻877-7

0947-42-2425



エネルギーから 住まい・暮らし・クルマまで、地域の皆さまの安心・快適な生活をサポートします!





Shinya Fujinara



Erika Kodama



M341LF 75W (PRO仕様)

トライアル車・モトクロス等のミッションに使用することを目的とした製品で、低粘度MTFのM341 75Wをベースに、さらに低粘度化を促進し、クッション性等の付与を目的として採用したベースストックTRB0973をあえて除き、ミッション操作における動きをさらにリアに反応すべく設計されています。これらの特性は究極のトライアル車両におけるクラッチ操作においてもアドバンテージをもたらしています。

M342 75W (小玉絵里加モデル)

M341LFの最大の特性である、操作におけるリアな反応性を穏やかにし、操作性を重視した製品です。

ひとつ一つのタイヤに 情熱と誇りを込めて。

ジョン・ボイド・ダンロップが実用化した

空気入りタイヤの誕生から130年以上、

オンロードやオフロード

ミニバイクからリッターバイクまで、

あらゆるバイクの足元を

支え続けてきたDUNLOP。

先端技術への挑戦と

厳しい品質管理のもとに

600を超えるサイズラインアップを保有。

タイヤの限界性能が問われる

スーパースポーツに限らず、

走りの質感にこだわるツーリングから

日常的なシティユースまで。

これからも情熱と誇りを込めて

ライダーの走りを支え続けます。



<http://dunlop-motorcycletyres.com/>



Moty's

株式会社 トライボジャパン

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 2-25-4

TEL: 03-3806-8277 ■営業時間: 10:00~17:00 ■定休日: 土曜・日曜・祝祭日

 HONDA



CRF

250L / 250RALLY



Photo: CRF250L


Pro Honda
empower your passion.

Pro Honda オイル&ケミカル

Honda純正オイル&ケミカル「Pro Honda」
環境への配慮とHonda二輪車のエンジン性能を
最大限に引き出す最適なバランスの再立を目指し
開発されたエンジンオイルをはじめ、Honda
二輪車のメンテナンスに適したオイル・ケミカル
をラインアップ。



詳細はPro Honda公式webサイトをご覧ください。▶

